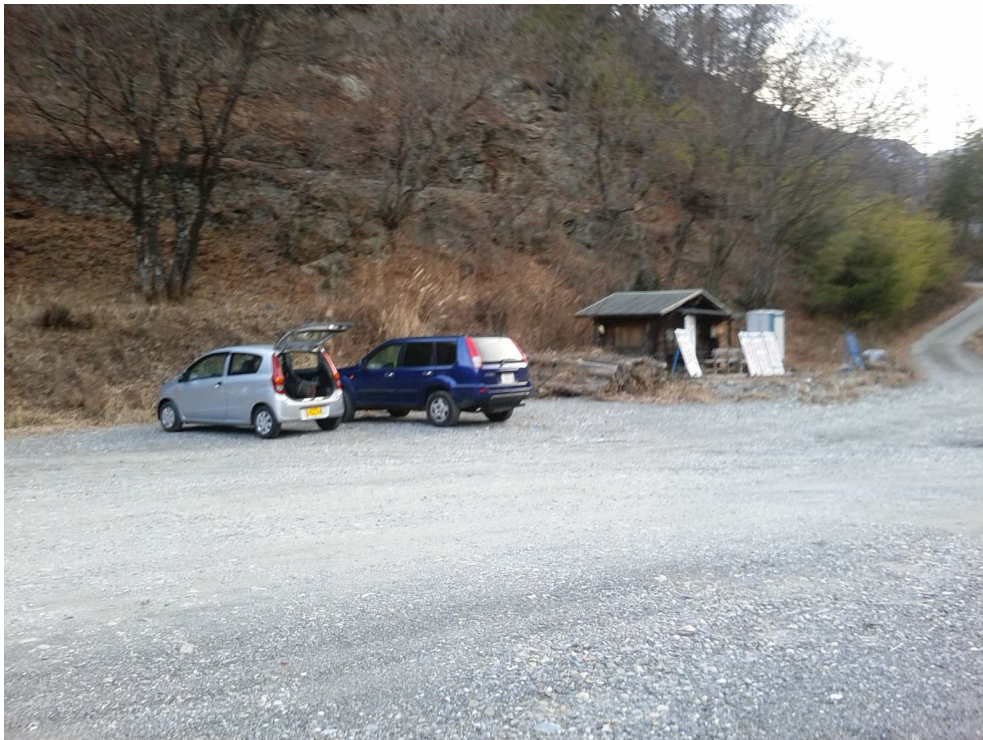


日時 2016. 12. 19～20 (月、火) 晴～曇り
メンバー 単独
山域 南アルプス・北沢峠2020m
標高差 戸台1020m～北沢峠2020m=1000m
コース
1日目 裾野・呼子発 2:44—甲府南 IC4:13—道の駅 南アルプスむら長谷 7:00—戸台 7:28
第二堰堤 9:11—丹溪山荘跡 11:50—北沢峠 15:15—長衛小屋テント場 15:38
2日目 長衛小屋テント場 8:36—北沢峠 8:55—丹溪山荘跡 11:00—第二堰堤 12:47—戸台
14:02—道の駅 南アルプスむら長谷 14:38—杖突峠 15:20—諏訪南 IC15:55—甲府南
IC16:54—裾野・呼子 18:35
摘要 クルマ移動=片道約200km 登り=7:24 降り=5:26

年末に雪山合宿で仙丈ヶ岳が予定されている。仙丈は夏場に広河原から北沢峠までバスで入り、長衛小屋で幕営して登ったことがある。今回は反対側、伊那の戸台から北沢峠に入ると言う。このルートは初見。そして西側から南アルプスにアプローチすることも未経験。そこで下見がてらテントを担ぎ、雪中キャンプと雪見酒を目当てに出掛けた。



戸台の駐車場、雪は路面も山も皆無。クルマも私の軽以外には大宮ナンバーの一台のみ



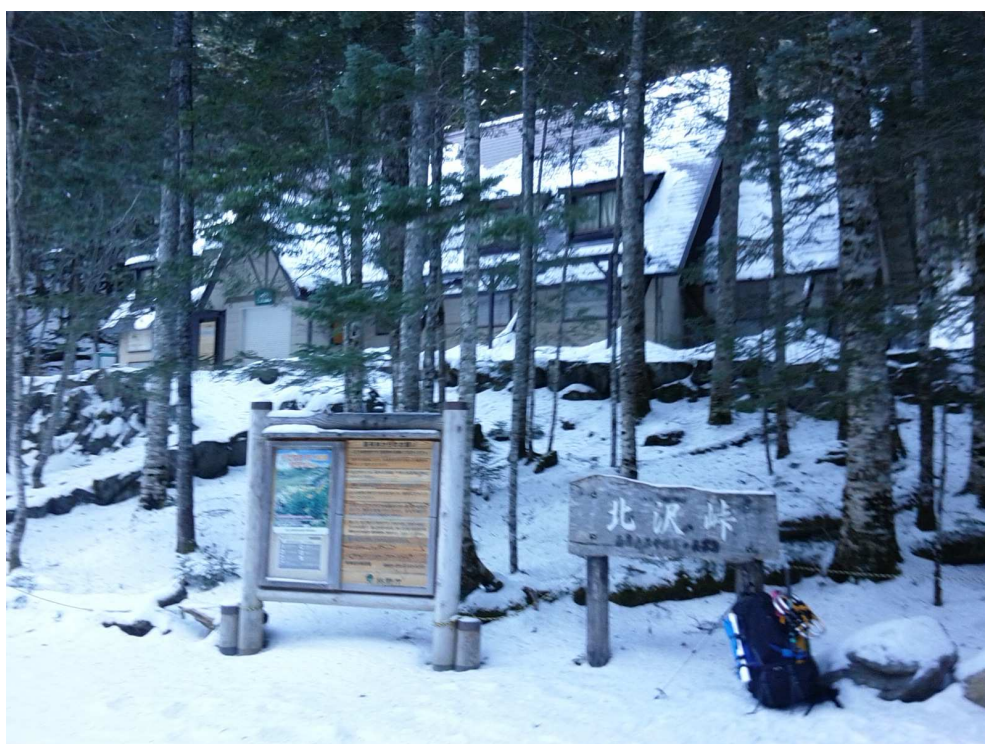
装備は、テント、シュラフ、アイゼン、ワカン、ピッケル、シャベル、ストック、バーナー、コッヘル、ビール、日本酒、ウイスキー、コーヒー、おにぎり、浅漬け、味玉子、魚肉バーガー、キムチ鍋とざっと26kg。ザックを背負って立ち上げることが出来る限界。



当初の計画では、丹溪山荘跡まで歩いて幕営するつもりだったが、雪が無くワカンや改造した6本爪アイゼンをテスト出来ない。時間も有り天候も快晴無風なので、北沢峠を目指す。



標高1700mあたりから雪。アイゼンを着ける。



15:15に北沢峠着。重い荷物と7時間の登りでへとへと。積雪は約30cm。小屋は休業で人影は全くない。山行中に会ったことは、戸台近くで熊撃ちの猟師と猿だけ。



峠では幕営は出来ない。反対側の長衛小屋のテシ場を目指す。



長衛小屋のテシ場も人っ子一人いない。かなり広いが見事にガラガラ。



幕営道具一式。羽毛シュラフ、テント、マット、シート、スコップ。



テント設営。雪を踏み均し、ブルーシートを敷く



テントは3人用。重いが居住性は抜群。



出来上がり。シュラフの下はブルーシート、テント、銀マット、緑スポンジシートで寒さを凌ぐ。テント前は雪を掘って一段下げ、出入りを楽にして、且、調理スペースを確保する。



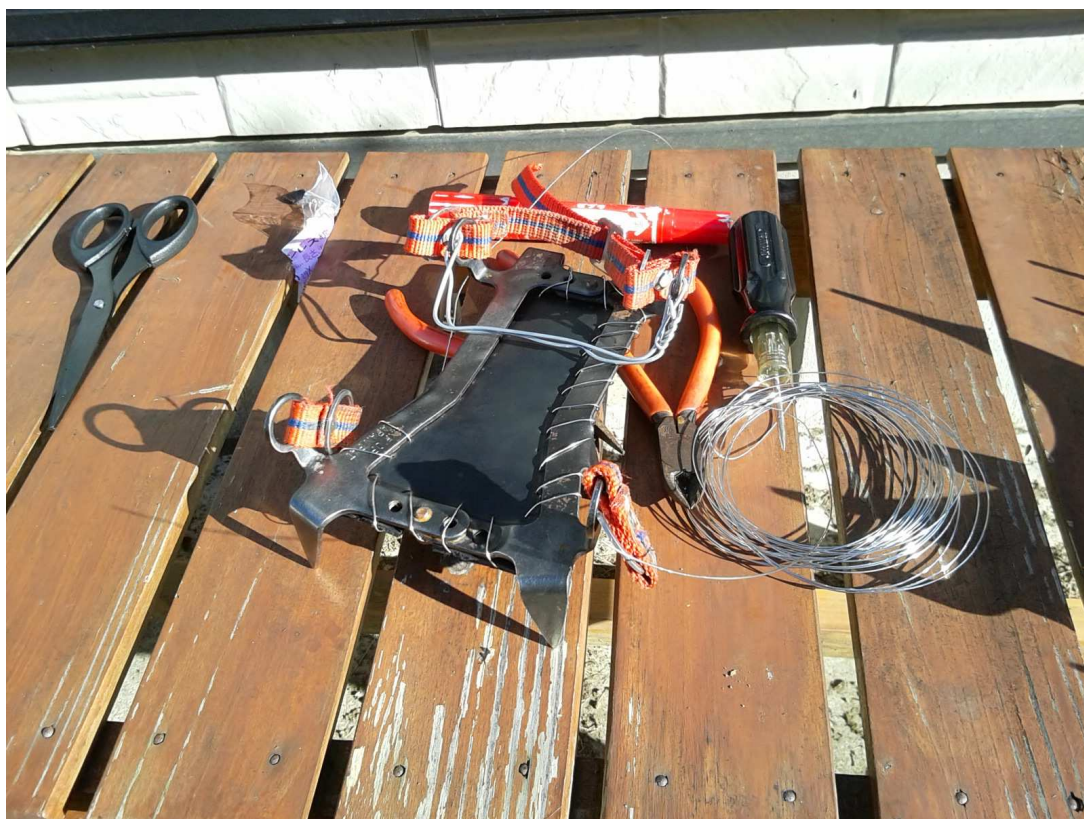
テント前のフライの下でキムチ鍋。大したものではないが、酒と鍋がとても美味しい。



翌日の朝ご飯。朝から水割り付き。



おまけ、6本爪アイゼン改造。ガタつき防止で針金を付けて、ヒール部に引っ掛ける。



雪玉付着防止で、アイゼンにSUS針金で、ゴム板を縫い付ける。